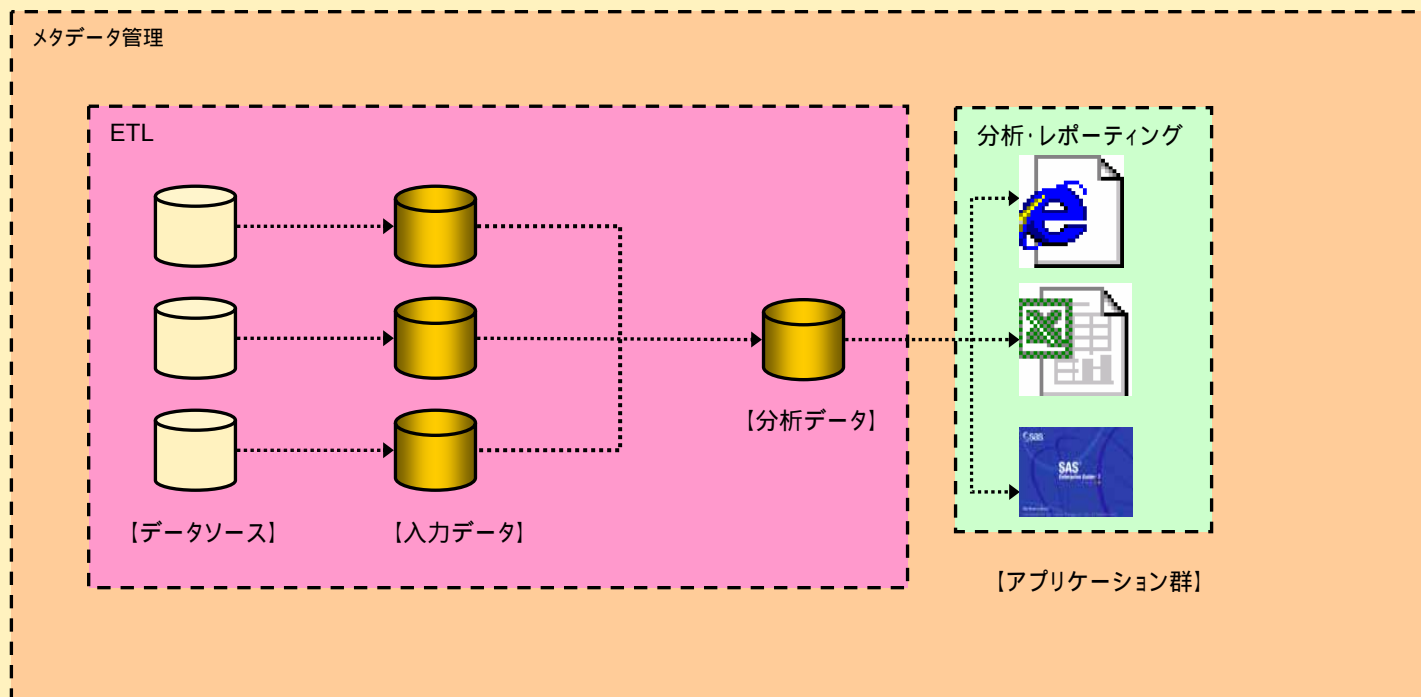


## デモンストレーションフロー

今回のデモンストレーションでは、以下の各処理をSAS Version9の製品群を用いて行います。また、使用するデータは市販後データとなります。

- データソースから今回レポートングなどに用いる分析用データの作成。
- 作成した分析データをユーザの用途やITリテラシーに見合ったツール群で分析・レポートング。
- データやアプリケーションに対してユーザごとにアクセス権などのセキュリティ設定。

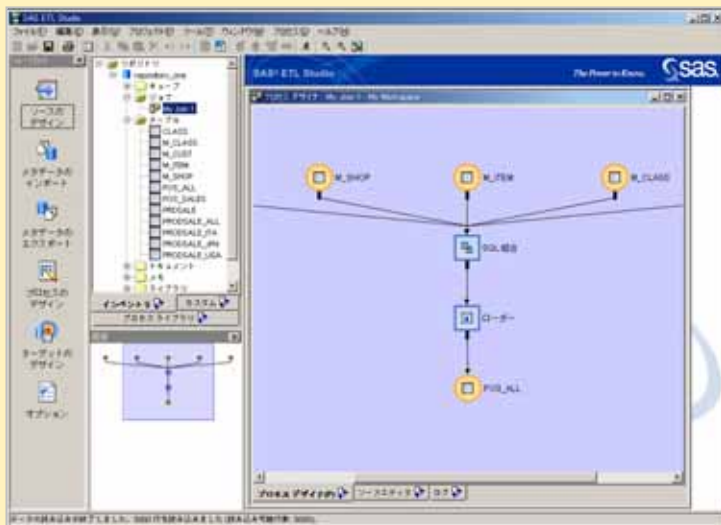
【デモイメージ】



## 分析用データの作成

これまでプログラムの記述で行ってきたデータ抽出・加工・ロードといったETLプロセスの各処理をETL Studioを使用することで、GUI環境で簡単に作成できるため、分析ニーズに合ったデータの提供にかかる負荷を最小化します。またETLプロセス自体を作成し保存することから、他ユーザとのナレッジの共有やメンテナンス性の向上が図れます。

### GUIによるETLプロセス設計画面

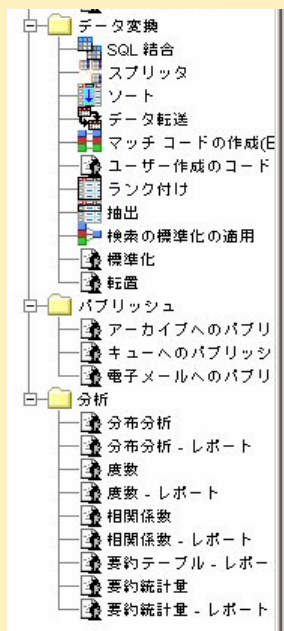


#### 直感的な操作でETLプロセスを設計

コーディングではなく、メニューからデータソースや変換機能をドラッグ＆ドロップを行いETLプロセスの設計・開発が可能

SAS言語やSQLの記述も可能です。

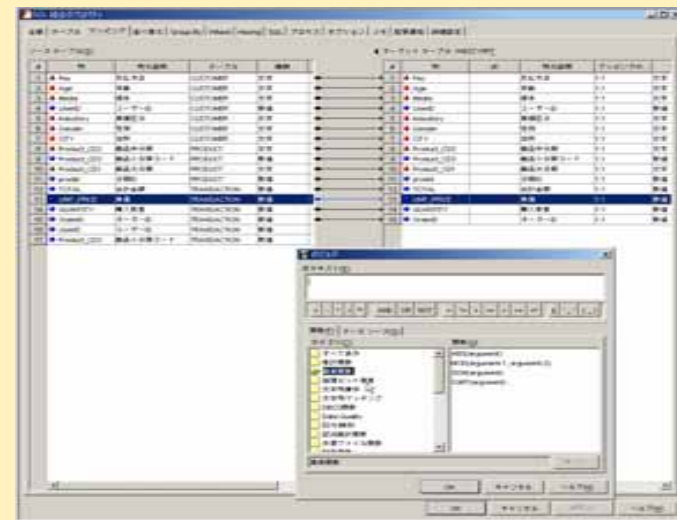
### データ変換メニュー



#### SASのデータ加工機能をメニュー化

単純なテーブルジョインから相関係数などの統計値の新規カラムをETLプロセス上で設定し、分析ニーズに合わせたデータ提供を実現

### 列のマッピング/ 抽出条件設定画面



#### ETLプロセスにおける詳細設定をメニュー化

ETLに必要なテーブルのジョインや条件抽出なども専用のウィザード形式で設計が可能

## 分析・レポートिंग

分析・レポートング環境と言っても、ユーザの用途やITリテラシーが異なるため、必ずしも画一的な環境が適しているわけではありません。SAS® BI Serverの各コンポーネントを活用することで、各ユーザ層のニーズやスキルセットに応じた環境を提供し、ユーザーの自主的なデータ活用の促進、業務の質的向上を実現いたします。



## Web Report Studio

Web Report Studioは、Webブラウザ経由でSASのレポートング機能を活用し、定型レポートの作成から配信まですべて実行できる環境を提供します。また他のユーザが作成したレポートを閲覧するなど全社的なレポートング環境の構築が可能となります。

### レポートの作成



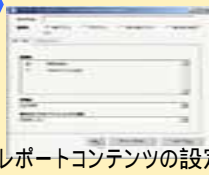
レポート作成メニューから  
レポートの作成



データの選択



データのフィルタ

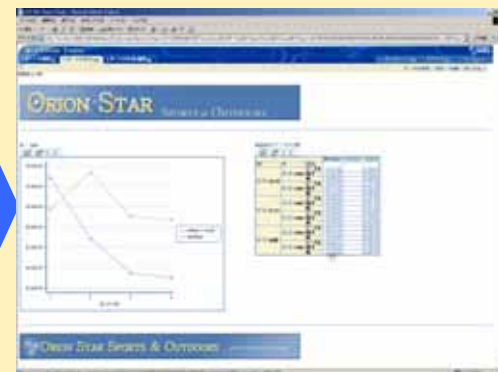


レポートコンテンツの設定



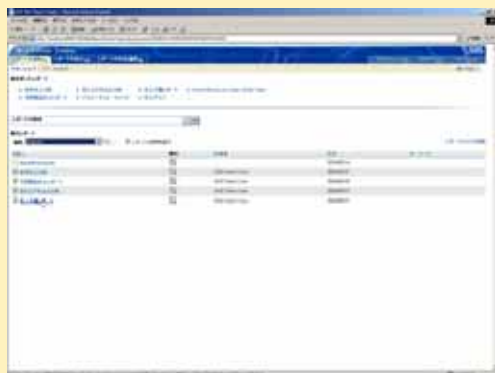
レポートのデザイン

作成レポートの詳細設定

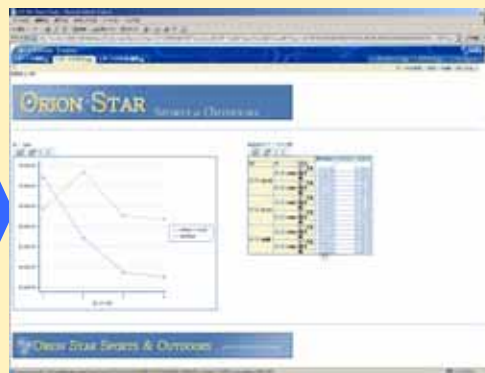


レポートの完成

### 配信済みレポートの 参照/ストアプロセス の実行



登録済みレポート/  
ストアプロセスの選択



レポートの表示/  
ストアプロセスの実行

		販売総計		売上予測額
国	年	商品	販売総計	売上予測額
カナダ	1993	テーブル	22,319.00	24,758.00
		椅子	24,462.00	24,008.00
	1994	机	25,675.00	23,408.00
		椅子	24,381.00	22,131.00
		机	25,777.00	22,788.00
		椅子	26,512.00	25,985.00

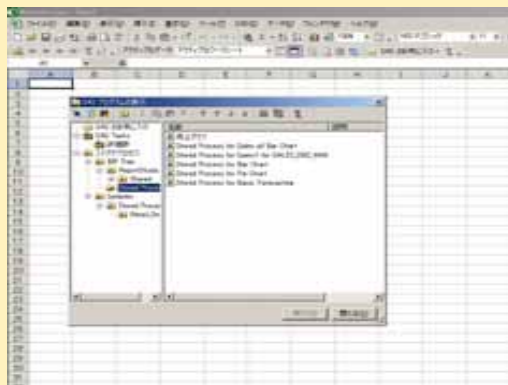


OLAP分析/データの抽出、  
レポートの印刷

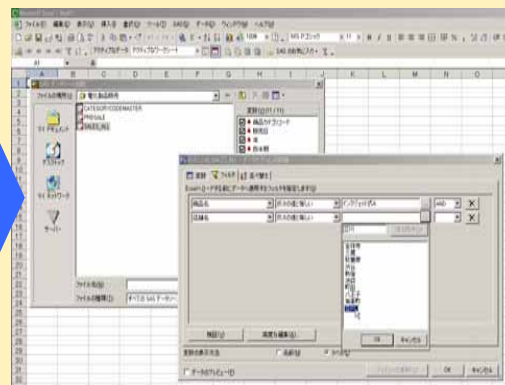
## - . Add-in for Microsoft Office

Add-in for Microsoft Office (AMO) は サーバにあるSASデータの抽出、サーバにあるSASプログラムの実行、をExcelインターフェイスから行えます。日常業務でのExcelを使う場合、操作性の問題も少なく、プログラムスキルがそれほど要求されない処理に関しては、Excelからマウス操作のみで実行することが可能となります。また、実際の処理はSASで行われるため、往來の大容量データの高速なハンドリングも損なわれることもありません。

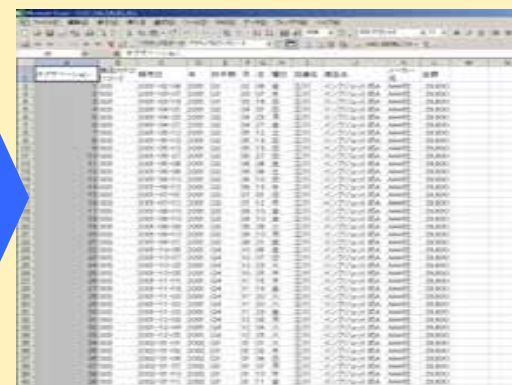
### SASサーバからの データ抽出



メニューからAMO機能を  
呼び出し

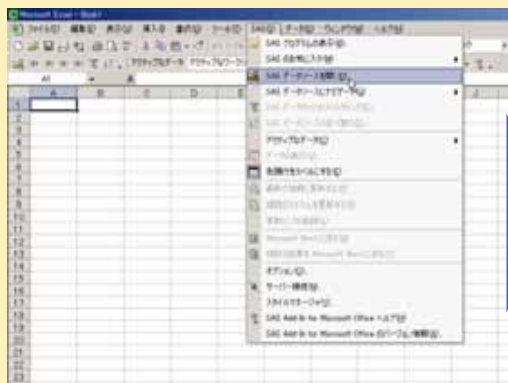


分析実行対象のデータの選択  
クエリ条件の指定と実行

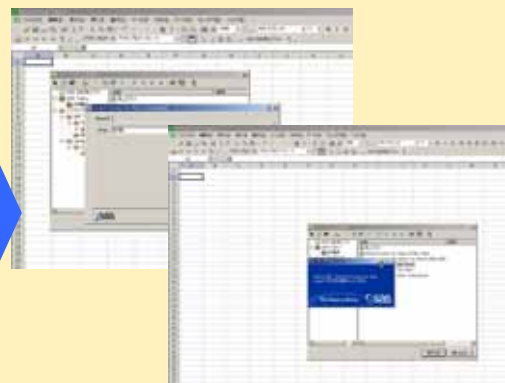


データ抽出結果

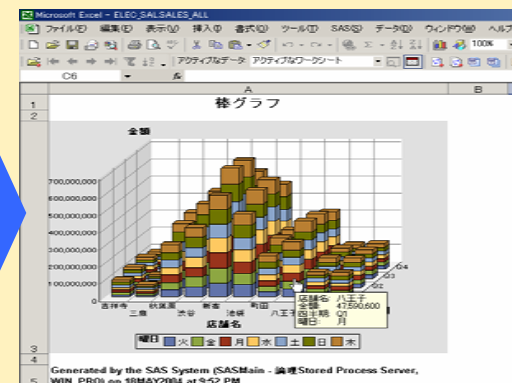
### SASサーバの ストアドプロセス の実行



ストアドプロセスの選択



パラメータの設定  
ストアドプロセスの実行



データ抽出結果



## - . Enterprise Guide

Enterprise Guideは、これまでプログラムを記述する必要があったSASプロシジャや条件抽出、データ結合などのクエリ機能を全てマウス操作のみで行うことが出来ます。実行できるプロシジャも集計表やグラフを始め、統計解析など多岐に渡るため幅広いユーザに対応することが可能となります。またマウス操作のみで行えることから、分析者はプログラム習得に時間を費やすことなく本来の分析業務によりフォーカスすることが可能となります。

### SAS® Enterprise Guide

#### 分析プロセスフロー図

分析フローの設計/管理及びストアドプロセスの登録

#### 分析タスクリスト

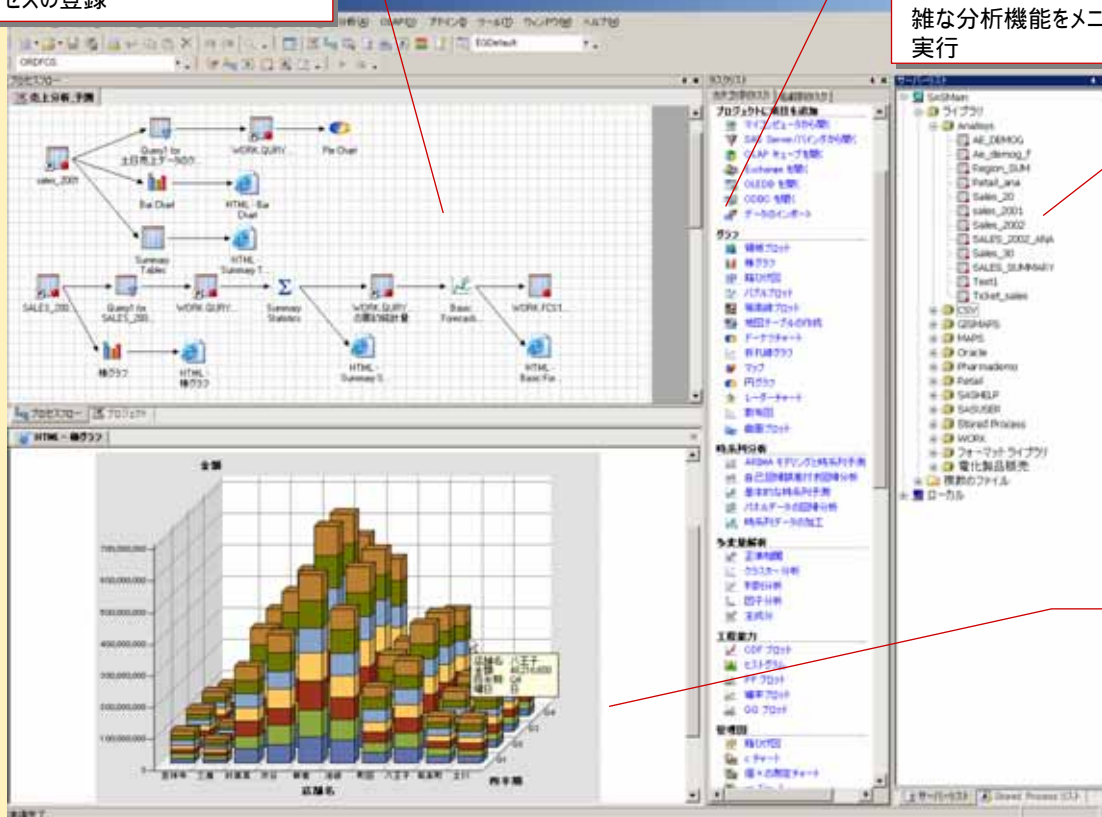
クエリーや集計、予測などのSASの複雑な分析機能をメニューから選択し実行

#### サーバデータリスト

生成され分析用データや外部データソースなどから分析対象データを選択

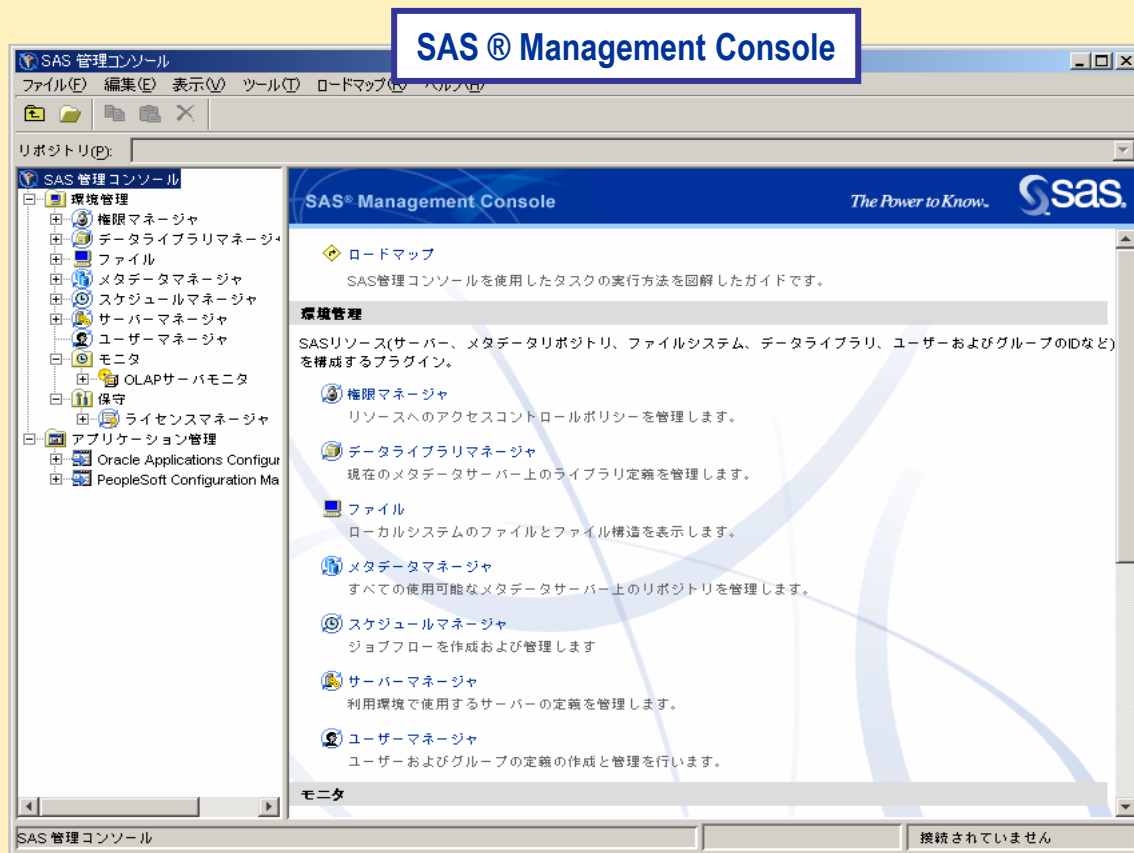
#### 結果ウィンドウ

分析結果の表示やデータのレビューの実施



## メタデータ管理

Version9からメタデータ管理を行うことによりユーザ管理やアクセス権の設定などをSASで行うことが可能となりました。またDWH上の全てのメタデータを一元化することにより、ETLから分析機能における全ての運用を管理することで、高いメンテナンス性、運用管理性を実現します。



### 管理可能な項目

- アクセス権限の管理
- データライブラリ管理
- ファイル/データ管理
- メタデータリポジトリの管理
- ジョブのスケジュール管理
- サーバの管理
- ユーザの管理
- ライセンスの管理
- アプリケーションモニタ